

令和元年度 第7回座間市在宅医療推進協議会（子会議）

日 時：令和元年10月8日（火）18時30分～20時00分

場 所：サニープレイス 3階研修室

1. 在宅医療・介護連携支援室より活動報告

（ア）26か所を調査し、9/12に終了。

（イ）介護サービス事業所の情報充実を目的としたワーキング会議を4回開催し、基礎的な調査項目とマップの情報共有について方向性がまとまった。

（ウ）介護事業所連絡会設立支援ワーキングチームが現在4団体のヒアリングを終了。

（エ）・ICTの運営規定がほぼ確定した。管理者向け研修会を9/26に開催。第2回目は10/23予定。

・介護サービス事業所の情報充実については検討ワーキングで調査項目を検討しほぼ決定。来年2月のアンケート調査に向けてアンケート用紙を作成中。

・利用者にケアプランを説明するときに使う市内事業所マップを作成中。A4（携帯用）とA3（利用者用）の2サイズ、事業所種別ごと6種類作成。ケアマネ（10事業所）が3月中旬まで試行し意見を反映。来年度、マップとアンケート結果のデータ集を作成する。利用状況を踏まえて一般市民にも広める方針。

（オ）9月に3件の相談あり。今年度累計14件。

（カ）9/20（第2回）開催、参加者28名。10/18（第3回）「病院からみた在宅」の予定。

（キ）報告事項なし。

（ク）11/11に4市連絡情報交換会開催。連携室から2名出席予定。

2. 座間市在宅医療検討委員会（医師会）より

10月1日第2回在宅医療検討委員会が開催された。

【ICT構築について】

- ・名称を「みまわりネットワーク」と決定。
- ・立ち上げ費用の補助はあるが維持費が非常にかかるとの情報があった。
- ・昨年30事業所をモニター指定したが稼働状況が芳しくない。※次回、資料提出予定。

【座間市医療・介護連携定期研修会チーム】

- ・第2回まで開催。身近なテーマ設定と市内講師による顔の見える関係構築をしたい。
- ・市民向けの講座、来年度の企画についても検討中→※次回、資料提出予定。

【介護事業者連絡会設立支援チーム】

- ・予定していた9月の連絡会でのヒアリングは実施に至らず、活動の中心である2名か

らヒアリングした。 課題：①中心となって活動する人の負担が大きい。②個人単位で持っている情報がうまく共有されていない。

今後はメンバーをリストアップし、連絡会立ち上げについて説明の場を設ける予定。

- ・通所リハビリへのヒアリングも年度内で検討中。

3. パーキング検討チームより活動報告

- ・「ざまりんほっとパーキング」の名称使用は問題なし。
- ・アンケートには、注釈として「訪問には契約、モニタリング、サービス担当者会議、認定調査等の事例も含む」「事業所のサービスごとに報告をしてもらう」を追加し、質問項目として「駐車場がどのくらいの距離のところにないと便利なのか」ということを追加する。 → アンケート内容については賛成多数で承認。
- ・集計は連携室で対応する。
- ・配布はFAXとし、連携室から提供された医療機関、事業所一覧をもとに送信する。
- ・医師会は県医師会を通じて緊急往診駐車許可証を得ているため診療機関に送信しない。
- ・訪問診療の歯科診療所のみ、歯科医師会から提供されたリストに基づいて送信する。
- ・薬局は介護事業に携わっているかの実態がつかめていないため、全薬局に送信する。
- ・ライフポート協議体との打ち合わせの結果、アンケートは在宅医療のワーキングチームで、パーキング事業を実施するとなったときは協議体で、という役割分担をした。
- ・事業を実施する際には予約システムを立ち上げる事も実態調査をした上で検討していく。
- ・次回協議体との情報交換会を10/25 18:30より開催予定。

4. その他

- ・医師会で施設に入っている高齢者の救急搬送についての課題が挙がった。医師会として調査していく方向。在宅医療推進協議会も調査支援したい。
- ・入所者が認知症や家族で救急搬送に時間を要するケースは多い。夜間の搬送に付き添う職員がいない。座間市内介護事業所は市消防から定められた救急対応用情報シートを救急隊に渡し、業務が煩雑になり渡せない場合は相談員・看護師が救急車に同乗している。
- ・受け入れ側としては情報がなく、情報収集に時間を要するケースが多くなっている。付き添いの職員の拘束時間が長くなったり、同じことを何度も説明したりするなどの問題も認識している。市内で統一された書式の情報シートがあることは知らないかった。救急隊から病院側には渡されていないが、シートの情報は非常に有益と思われる。

次回、親会議 令和元年11月12日（火）18時30分よりサニープレイス座間 予定。

以上